



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 第1展示室リニューアル

02 “最初の画材”で描いてみよう

Vol.317

2023/10/01



城坂結実 《ヤマウルシの紅葉》

Photo 今月の1枚

美幌みどりの村森林公園で見られる、ヤマウルシの木。ヤマウルシは鳥の羽のような葉が幹に向かい合って付くのですが、上から見下ろすと葉が放射状に広がっているように見えます。あまり背の高くない木なので、上から見下ろすことのできる場所を探して、紅葉狩りならぬ漆狩りを楽しんでみてください。(城坂結実)



01 Green Column グリーンコラム

第1展示室 リニューアル

写真・文／城坂結実

今月、10月1日（日）は、開館記念日に加え、第1展示室のリニューアルオープンの日です。昭和62（1987）年に開館した美幌博物館。その第1展示室は、川とともに歩んできた美幌町の歴史を伝えており、開館から36年経ってもなお、当時の展示が色濃く残る場所でした。

今年は、ちょうど美幌町制100周年の節目にあたることから、多くの方に美幌町の歴史を再認識してもらえるようにという思いも込めて、リニューアルしました。どのように展示室が生まれ変わったか、実際に見て確かめていただくのが1番なのですが、遠方にお住まいの方もいらっしゃるので、簡単にご紹介します。

まずは、実物資料が増えました！これまで展示台がなかった場所に展示台を作り、貴重なものから懐かしいと感じていただけるものまで、未公開だっ

た資料を展示しています。学芸員がこれは見てほしい！というおすすめの資料には、50文字程度の解説もつけましたので、新しい発見があるかもしれません。

2つ目は、コーナー毎の区切りをわかりやすくしました。明るくかつ落ち着いた色合いのある色合いでコーナーを6つに色分けし、各色の垂幕や大きな解説板が、皆様を各コーナーへ導いてくれます。

また、照明を明るくしたり、過去の特別展等で活躍してくれたキャラクターを再登場させたりもしていますので、小さなお子様も展示室に入りやすくなったのでは、と思っています。

実は展示担当の特権として、こっそり!? 植物標本や植物写真も増やしていますので、色々な角度から、美幌町の歴史を楽しんでいただけるとうれしいです。

“最初の画材”で 描いてみよう

写真・文／早田真莉子

美幌博物館に収蔵されている美幌町指定文化財「えもようつきれき絵模様付礫」は、その名の通り、石に絵が描かれています。しかし、この石の表面に描かれた、黒い太陽のような模様が何を意味しているのかは、謎に包まれたままです。今回は、こうした太古に描かれた絵について触れてみたいと思います。

いまから約 20,000 年前、フランスのラスコー洞窟やスペインのアルタミラ洞窟といった洞窟の奥深くで、人類ははじめて絵を描きました。描かれたものは、獲物であったウシやシカ、イノシシなどの草食動物や、天敵であった肉食動物でした。それに加えて、頭部は鳥で体は人間のように見える奇妙な生き物なども描いており、その想像力や表現力の豊かさには驚きます。当時の人々は、色とりどりの土に血液や脂、樹液を混ぜて絵の具として使用し



ました。また、白色をつくる場合には、骨を砕いて作った粉末や白土を用い、黒には、木や骨を不完全燃焼させて作った炭などを使用したそうです。そして筆の代わりには、木の枝や動物の毛を利用し、指でも壁画を描きました。

美幌博物館では、こうした先史時代の人々と同じような描き方が体験できる活動を行っています。この活動では、近隣で採取した土をふるいや乳鉢で細かくし、粉末状にしたものを、固着剤の役割を果たすにかわ膠やみつろう蜜蝋と混ぜ、絵の具やクレヨンを作ります。完成した画材で実際に描いてみると、その独特の描き心地や天然ならではの色味に、思わず歓声が上がることもしばしば。もしかすると、大昔の人々も、厳しい狩猟生活のなかでさえ、絵を描くのが楽しくてたまらなかったのかもしれないね。

Exhibition 展示

特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」
～10月22日（日）

ロビー展「すごい標本！すごい資料！」
～10月9日（月・祝）

ロビー展「文化人類学者 山口昌男」
10月14日（土）～11月5日（日）



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

開館記念日 無料開館

10/1（日）

美幌博物館・無料

博物館講座（自然編）

「ポータブル魚道をもっと使ってみよう」

10/21（土）10:00～11:30

美幌博物館 2階 視聴覚室、美幌町内・100円

講師／高橋直己氏（香川高等専門学校）、福井翔氏（東京農業大学）

対象／中学生以上～一般（小学生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館へ電話申込み（10/1-10/18）。

プチ工房「ストローパイプ笛」

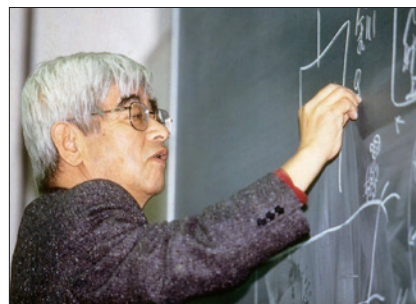
10/27（金）、28（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・300円

講師／鬼丸和幸（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要



Tweet つぶやき

美幌博物館 月刊情報誌 Green Letter

博物館正面の芝生に常設されている野外彫刻《碧空へ》の清掃を行いました。この作品は、美幌町の戸長役場設置100周年を記念して、月形町出身の彫刻家 本田明二さんが制作してくださったものです。芸術の秋、きれいになった彫刻をぜひ鑑賞しにきてください！（早田真莉子）



【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美倉 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

